

3 - 11 三浦半島北武断層，房総半島延命寺断層における地殻歪について

Crustal Strain around the Kitatake Fault, Miura Peninsula and En-meiji Fault, Boso Peninsula, Central Japan

地 質 調 査 所
Geological Survey of Japan

地質調査所では標記の断層において，それぞれの断層をまたぐ基線網の繰返し精密三角測量を実施してきている。

基線網の位置，図形等については既報¹⁾のとおりであるが，延命寺断層については1973年に測点のうちの1つを移設したので，それ以後の測量成果について解析を行った。

北武断層における地殻歪の解析にあたっては，各辺の歪に最も良く一致する歪楕円を最小自乗法で決定し，主歪を求めた。²⁾ 延命寺断層については，4点のうち1点が不安定なため，測量及び網平均は4点について行ったが，歪は安定な3点からなる三角形について求めた。

第1図に両断層における最大剪断歪と面積歪の推移を示す（歪の単位は μ strain）。

1982年春の観測から求められた歪の値は今までに観測された歪の変動幅に入っている。

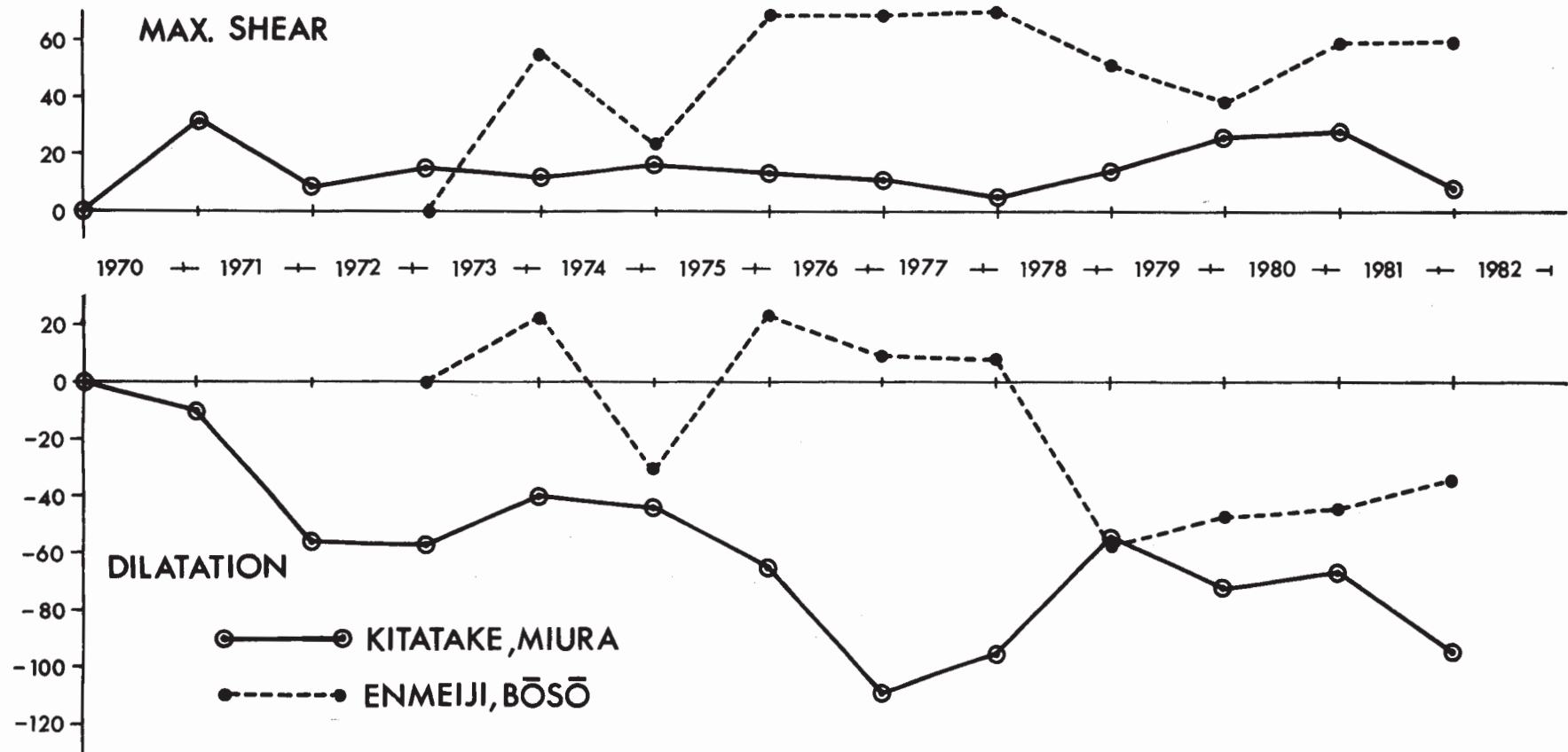
面積歪については，延命寺断層における1975～1978年のパターンと北武断層における1978～1982年のパターンが互いに良く似ている事が注目される。（衣笠善博）

参 考 文 献

1) 地質調査所：南関東の活断層近傍の地殻変動，連絡会報，**9**（1973），42－45.

2) Kinugasa, Y.: Crustal Strain on and around an Active Fault

— An example from the survey on the Kitatake fault —,
Jour. Geod. Soc. Japan, **27**（1981），309－311.



第1図 両基線網における最大剪断歪と面積歪の推移

Fig. 1 Maximum shear strain and dilatation versus time at two observation nets (unit: micro-strain).